

令和5年（2023年）2月 3日

## 山形大学と日本貿易振興機構（JETRO）が包括連携協定を締結 ～企業海外連携 x 学生実践的グローバル教育の「山形モデル」を更に発展へ～

### 【本件のポイント】

- 本日、国立大学法人山形大学と独立行政法人日本貿易振興機構（JETRO）は、包括連携協定を締結しました。
- 山形大学は、国内外の企業等との連携ネットワークを活用して、国内企業等の海外企業等との連携へ学生を参画させ実践的グローバル教育を行う、特色ある独自の「山形モデル」をすでに10年以上展開してきており、ジェトロもその展開へ協力してきました。
- 締結をきっかけに両者は、「山形モデル」の分野（工業に加え農業等も）と地域（米沢市・山形市から全県へ）を広げ、更に、グローバル人材育成の対象も学生に加えて、産官学金で連携してきている金融コーディネーター等へも広げて展開します。
- 今後は、ジェトロ・インターナショナル・コラボレーション・オフィス（仮称）を設置（当初はバーチャル）して関係機関とも連携して進めていきます。



山形大学の1年生の全学部向けの基盤教育授業「山形県の製品をグローバルに売り込む」（毎年10名受講）で、新たに海外展開したい県内企業を掘り起こしその現場を訪問し、SWOT分析等（上の写真）して、売り込みバワポの作成しプレゼン提案している（ジェトロ山形・山形県・米沢市の協力の下で2020年度よりすでに3年（1年に新たに2社ずつ新たに海外展開したい県内企業）展開している

### 【概要】

山形大学と日本貿易振興機構（JETRO）は、学術研究、人材育成又は産学連携等での国際的な展開を相互に連携しながら推進し、山形県及び地域の発展に寄与することを目的に、包括連携協定を締結しました。

#### （経緯と実績、今後の展開、進め方）

山形大学は、国内外との企業等との連携ネットワークを活用して、山形大学と海外企業等、また、山形大学が連携する国内企業等の海外企業等との連携（国際共同研究・共同試作品作製・輸出輸入取引・売り込みアピール等）に、学生を参画させて実践的なグローバル教育（短期長期海外インターンシップ（主に大学院生）・学部1年生の基盤教育（全学部対象）集中講義授業等）を行う、特色ある独自の展開「山形モデル」を約10年以上展開してきました。ジェトロもその展開へ協力（JETRO-RIT（Regional Industrial Tie-up 国際地域間連携）事業、基盤教育授業「山形県の製品をグローバルに売り込む」）してきました。

今までの取り組みは、主に工業・食品・工芸品・繊維等で、対象地域は米沢市・山形市などでしたが、今後は、更に分野をアグリ関連（農産物・農業等）などへ広げ、地域も県全域へ広げます。また実践的グローバル教育の人材育成の対象も学生に加えて、産官学金連携で連携してきた金融コーディネーター等へも広げて人材育成を行っていきます。それにより山形と海外とを更に結びつけることで地方創生に貢献していきます。

効果的な推進の為に、ジェトロ・インターナショナル・コラボレーション・オフィス（仮称）を設置（当初はバーチャル）して関係機関とも連携して進めていきます。

#### （連携・協力事項）

山形大学と日本貿易振興機構（JETRO）は、主に以下の事項について相互に連携・協力をを行います。

- 国際的な学術研究、人材育成及び産学連携に関すること
- イノベーションの創出に関すること
- 研究成果の社会的活用への支援に関すること
- 山形県及び地域の学術、教育、文化、産業等の振興に関すること

**【協定機関の概要】**

○**独立行政法人日本貿易振興機構**（英語: **Japan External Trade Organization; JETRO** ジェトロ）

概要：経済産業省所管の独立行政法人

本部：東京

国内：国内貿易情報センター 48事務所、1支所

海外：55か国76か所の海外事務所

ジェトロ山形所在地：山形市七日町3丁目5-20 富士火災山形ビル4階

以上

お問い合わせ

山形大学 産学官連携推進本部 イノベーション推進部門長 高橋辰宏

TEL 0238-26-3585 メール effort@yz.yamagata-u.ac.jp

日本貿易振興機構山形貿易情報センター（ジェトロ山形） 所長 阿部道太

TEL 023-622-8225 メール Michita\_Abe@jetro.go.jp



# 山形大学—ジェトロ 包括連携協定調印

産学官連携推進本部

イノベーション推進部門長

高橋辰宏

(学術研究院 教授 有機材料システム分野)

# 内容

## (1) 実績と経緯

今まで何を一緒にやってきたか？

## (2) 今後の予定

これから何を一緒にやるか？

## (3) 今後の進め方

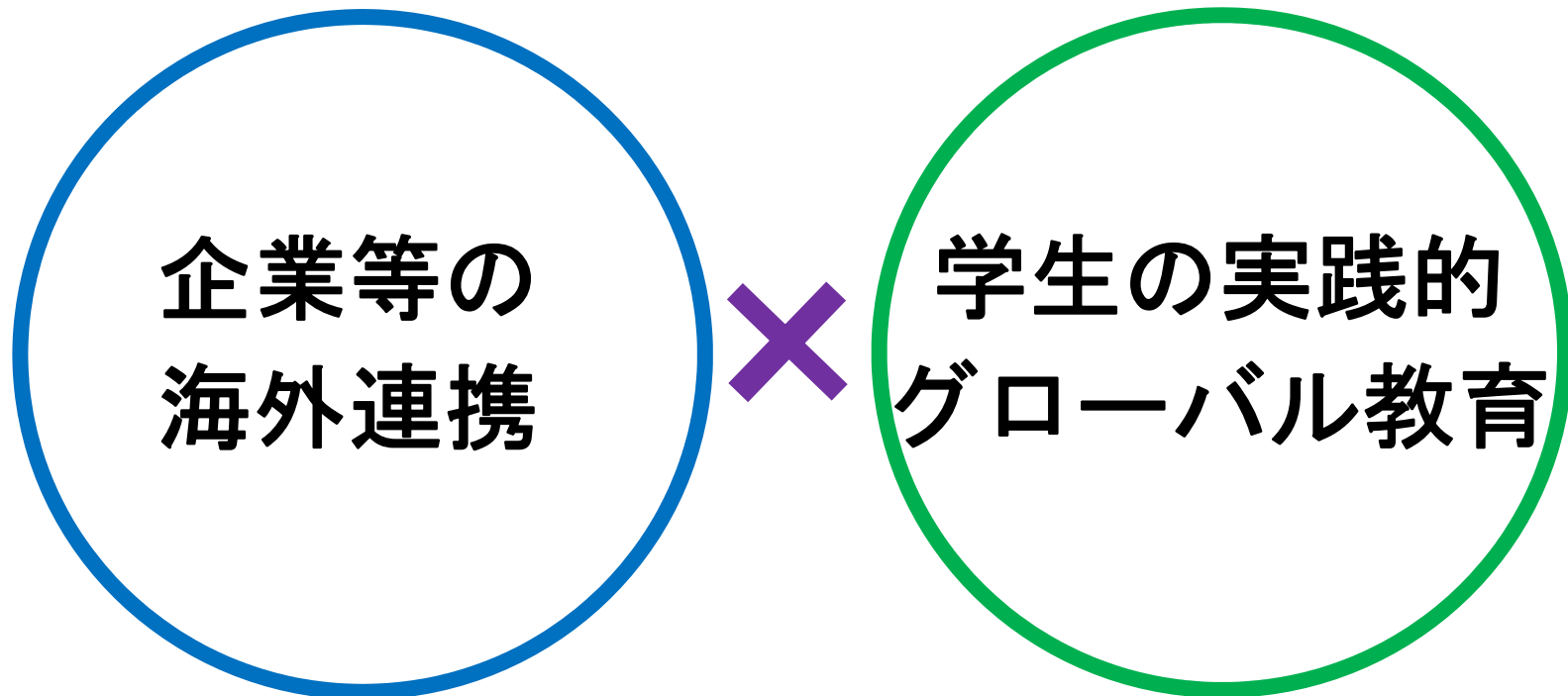
一緒にどうやるのか？

# (1) 実績と経緯

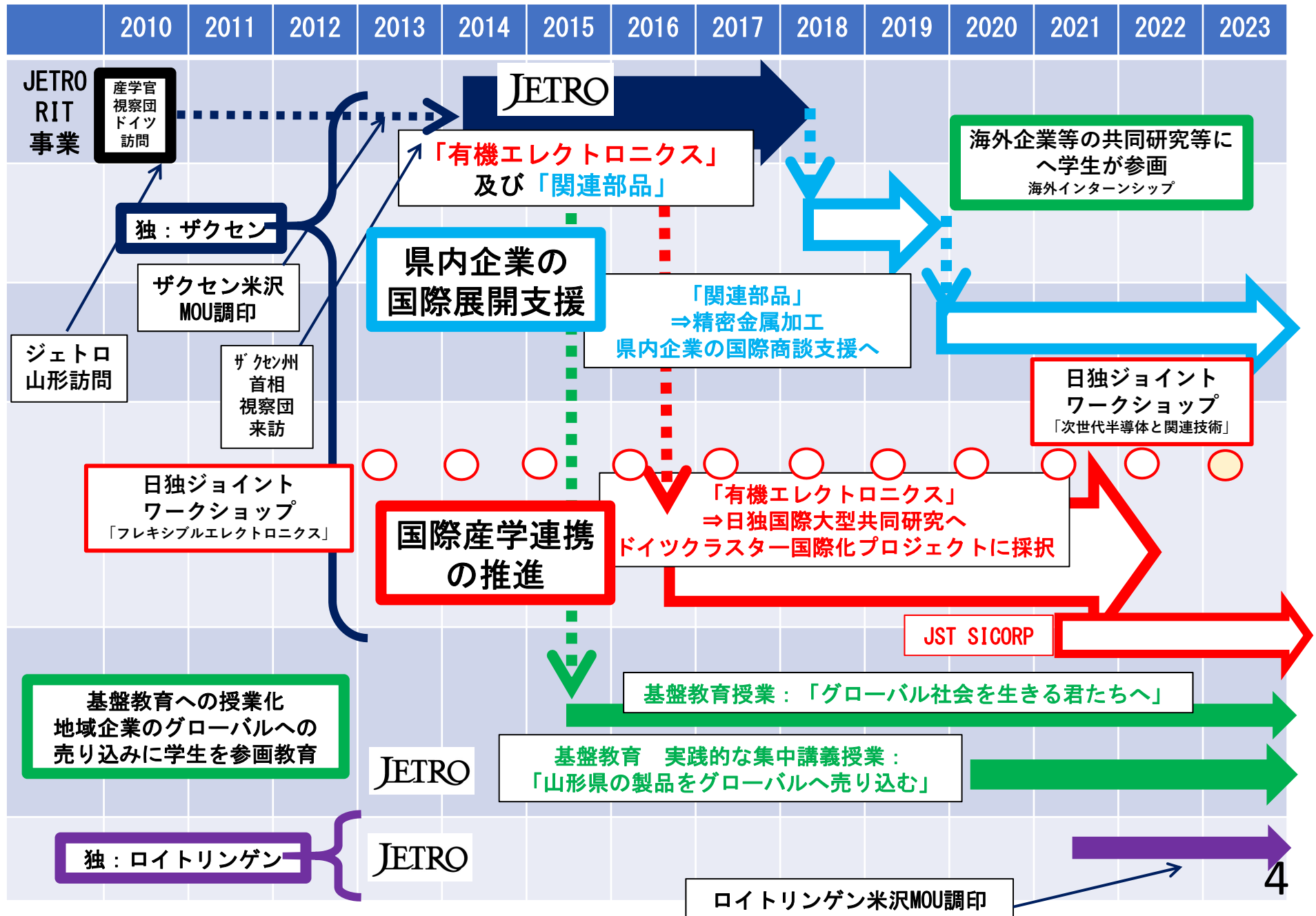
企業等の海外連携 × 学生の実践的グローバル教育

## 「山形モデル」

山形大学は国内外のネットワークを活用し、山形大学と海外企業等の連携、また、国内企業等と海外企業等の連携に学生を参画させる実践的グローバル教育を行う、特色ある「山形モデル」を10年以上展開してきた。ジェットロも協力してきた。



# 独自の「山形モデル」で展開してきた概要





「山形モデル」の具体的実績例 1例として

# 1年生の基盤教育授業

企業の海外売り込みに学生を参画させる

## 授業名 「山形県の製品を海外へ売り込む」

海外WEB商談アピールパワポの作成

1年生 基盤教育（学部横断するメンバー）

1例として

食品：半澤鶏卵



JETRO山形  
山形県  
米沢市等  
との連携し  
基盤教育授業を展開



## (2) 今後の予定

分野・地域・対象人材を広げて

# 「山形モデル」の発展

山形モデル	今まで	今後
中小企業等の海外展開支援	工業製品 (フレキシブルエレクトロニクス・精密金属加工等) 食品・工芸品・繊維等 (米沢市・山形市など)	アグリ関連 (農産物・農業関連) など 県内全域へ
実践的なグローバル人材育成	学生 (工学系学生(学部生・大学院生)・基盤教育1年生)	学生 (農学系など) 金融コーディネーター育成



# (3) 今後の進め方

新たに設置（発足時はバーチャル）

ジェトロ・インターナショナル・コラボレーション・オフィス  
（仮称）

所管理事 飯塚博 理事・副学長（研究、産学連携担当）

室長 高橋辰宏 産学官連携推進本部 イノベーション部門長

大学側事務局：研究情報部 研究推進課

ジェトロ側事務局：山形貿易情報センター（ジェトロ山形）

